



第15回 ソーシャルワーク教育推進大会

開催要項

【大会テーマ】 これからの福祉教育

～ソーシャルワーカーに求められる実践力の向上を目指して～

1. 趣旨

これまでソーシャルワーカーは、日本の社会の中で、安心、安全そして幸せに暮らせるように様々なライフサイクルに応じた支援を行ってきました。平成と言う時代の中、活躍の場も、子ども・子育て支援、生活困窮者支援、高齢者支援、身体障害、知的障害に加え精神障害や発達障害等の支援等、様々な分野に広がり、2007（平成19）年度に社会福祉士の養成内容、2010（平成22）年度に精神保健福祉士の養成内容の見直しが行われました。その後も多様な活躍がソーシャルワーカーには求められつづけ、前回の見直しから10年を経て、現在、社会の変化と共にソーシャルワーカーの養成カリキュラム内容や実習及び演習の充実化の方向性が示されました。社会状況の変化や多くの自然災害を経験した平成から何を学び令和におけるソーシャルワーカーは学ぶべきでしょうか。

そこで今回の本大会は、これからのソーシャルワーカーに求められるであろう新たな知識や役割について深めること、社会に寄り添い実践する力を身に付けるための教育について社会福祉士、精神保健福祉士の養成教育に関わる関係者の皆さまと共有し示唆を得る機会としたいと考えております。

ソーシャルワーク教育に関わる養成校教員や実習指導者の皆さま、ソーシャルワーカーを目指す学生の皆さま、高校教員や現場で働かれている皆さま、関心をお持ちの皆さま、ご参加を心よりお待ちしております。

2. 主催 日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック

（開催主管支部：山梨県支部）

3. 後援 一般社団法人 山梨県社会福祉士会 山梨県精神保健福祉士協会

4. 期日 2019（令和元）年12月7日（土）

5. 会場 公立大学法人 山梨県立大学 飯田キャンパス 〒400-0035 山梨県甲府市飯田 5-11-1



6. 参加費 1,000 円（学生・大学院生無料）

7. 対象者 日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校教員、
社会福祉施設・機関職員、医療機関、高等学校教職員、学生・大学院生
その他ソーシャルワーク教育に関心のある方

8. 日程

【12月7日（土）】受付時間（13時00分～13時30分）

受付場所：山梨県立大学B館1階

13時30分～13時45分-----開会

- ・ソ教連関東甲信越ブロック運営委員長 船水浩行（東海大学）
- ・会場校代表挨拶

13時45分～15時15分-----基調講演（90分）

「ソーシャルワーカー養成におけるカリキュラム改変について」

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 企画課長（前厚生労働省社会福祉専門官）
添田 正揮 氏

15時15分～15時30分-----休憩

15時30分～17時40分-----テーマ別分科会（130分） ※ 次頁参照

17時40分-----終了

<p style="text-align: center;">第1分科会</p>	<p>災害ソーシャルワーク教育のあり方</p> <p>近年、地震や台風等の自然災害による生活への被害が日本各地で頻繁に起こっています。災害時のソーシャルワークは、災害ごと時間ごと、ソーシャルワーカーの所属機関・施設によっても支援の内容は異なります。このような範囲の広い災害ソーシャルワーク教育においては、どのような点を普遍化して取り組むことができるのでしょうか。この分科会では、各校で行われている災害ソーシャルワークに関する講義・演習の内容を参加者の皆様と共有します。</p>	<p>話題提供者 高橋 賢充（身延山大学） 高木 寛之（山梨県立大学）</p> <p>コーディネーター 山田 勝美（山梨県立大学）</p>
<p style="text-align: center;">第2分科会</p>	<p>住民・学生・教員の三者間で行われる教育的実践</p> <p>これまでソーシャルワーク教育は、質的、量的な充実化の必要性が問われてきました。また、養成に関わる教員も実習や演習に加え、教員が持つフィールドへ学生を連れ出し、多くの体験を促してきました。この分科会では、各校で行われている地域住民、学生、教員の三者間で行われている教育的実践を参加者の皆さまと共有し、さらに豊かな体験や学びにつなげる機会としたいと考えています。</p>	<p>話題提供者 古川 奨（健康科学大学） 大塚 ゆかり（山梨県立大学） 山中 達也（山梨県立大学）</p> <p>コーディネーター 大津 雅之（山梨県立大学）</p>
<p style="text-align: center;">第3分科会</p>	<p>「基本プログラムと個別プログラムの連動」 （実習指導者フォローアップ研修：実習プログラミング）</p> <p>現在の実習指導体制になり10年以上が経過し、実習受け入れ機関では、基本プログラムを作成している現状です。一方で、学生個々の状況に応じた個別プログラムをどうしていくかは、実習機関の課題になっていると言えます。これまでこの課題に対して各機関の実習指導者や養成校教員と議論する機会が少ない状況でした。この分科会では、基本プログラムを踏まえて、どう個別プログラムを作成していくか等について、参加者の皆さまと議論していきたいと考えています。</p>	<p>司会者 安保 尚 （富士吉田市役所 福祉課）</p> <p>話題提供者 ※3名予定</p> <p>コーディネーター 檜木博之（静岡福祉大学）</p>

9. 参加申込み方法

下記の URL 又はQRコードを利用しアクセスフォームより、**11月10日(日)13:00**までにお申し込みください。**定員200名**になり次第締め切らせていただきます。なお、教室の収容の関係で第2希望の分科会へのご案内になる場合があります。

URL

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSezkbkewU1dZOTMFKjgl-2ZuQlJiTK606Z3uR6K4vY9kLv666w/viewform>

QRコード

「QRコードが読み取れない場合、日本ソーシャルワーク教育学校連盟のホームページにあるURLからも申し込みが可能です」



10. 問合せ先

お問い合わせは、以下にメールでお願いいたします。
確認次第なるべく早くお返事させていただきます。

山梨県支部 担当 健康科学大学 古川研究室アドレス t-furukawa@kenkoudai.ac.jp

山梨県立大学 高木研究室アドレス h_takagi@yamanashi-ken.ac.jp

(参考) ≪「ソーシャルワーク教育推進大会」の趣旨及び沿革≫

本大会は、日本社会事業学校連盟（日本ソーシャルワーク教育学校連盟）が、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）を踏まえて行った「社会福祉援助技術現場実習マニュアル（案）」の策定等を契機に、実習教育の一層の充実のために実習施設・機関と養成校とが配属実習に関する諸条件、実習のあり方等について研究・協議をするための場として1988（昭和63）年度からブロック別に開催することとした「社会福祉援助技術現場実習研究協議会」に始まり、実習前後の教育、指導体制、実習内容、評価等のあり方について議論が重ねられてきました。

2001（平成13）年に日本社会福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟が発足してからは両団体の関東甲信越ブロックの事業に移行、2005（平成17）年度には名称を「社会福祉士実習教育推進大会」とし、社会福祉士実習に焦点化した大会として運営されてきました。その後、2014（平成26）年度大会（第10回）からは、名称を「社会福祉士育成推進大会」に変え、福祉人材の育成・確保、任用拡大等も含めた協議の場といたしました。

2017（平成29）年度大会（第13回）より、日本社会福祉士養成校協会・日本精神保健福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟の三団体が合併し、名称を「ソーシャルワーク教育推進大会」とし、社会福祉士・精神保健福祉士を含めたソーシャルワーク教育について、関係者が協議し、より一層の発展につなげていく場としております。

11. 交通アクセスのご案内

JR中央本線甲府駅南口から徒歩 20 分。

バス（JR 中央本線 甲府駅 南口 山梨交通バス乗車場 4 番線）

中央病院経由竜王駅行き、長塚行き、長塚経由敷島営業所行き、中央病院行き、中央病院
経由敷島営業所行き、飯田経由敷島営業所行き

・いずれも「飯田三丁目」にて下車してください。（徒歩 7 分）

会場周辺地図等、詳しくは山梨県立大学のホームページをご参照ください。

<http://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/info/map>

山梨県立大学（飯田キャンパス）の地図・アクセス



12. 当日、お車で来校の場合

山梨県立大学 飯田キャンパス内の駐車場をお使いになれます。